

科目 31

科目名	アントレプレナー・ファイナンス Entrepreneur Finance		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・火・4 限	春・火・5 限	-	-
担当教員名	唐木 宏一	e-mail		
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>アントレプレナー・ファイナンス (EF) は、比較的新しく確立されはじめた研究領域である。アントレプレナー (起業家) に有用なファイナンス (金融財務) にかかる知識/能力には、一般的なコーポレート・ファイナンス (CF) のそれらとは異なる部分が少なくない。それら CF からこぼれおちた部分を含めた、「起業家に求められるファイナンス (にかかる研究)」が、EF である。そのため本講義では、ベンチャーキャピタル等のアントレプレナーに独特のファイナンス (アントレプレナーのためのファイナンス) と、企業評価の手法等 CF の領域においてアントレプレナーに有用なもの (アントレプレナーのための CF)、双方について学ぶ。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>急速な成長を射程においたベンチャー起業を目指す者が、上記について事前に全てを完璧に習得することは、そもそも現実的ではない。しかしながら、起業スタート後に慌てて一から学び直す猶予など許されないのも当然のことである。そうであるならば目指すべきは、「もしも必要に迫られたときには、最小限の努力/コストで適切かつより詳しい情報に接近できるための基礎的素養をもつこと」になる。</p> <p>これを踏まえ、本講義では EF における様々な論点を、教科書を主たる題材として概観し、それによって基礎的素養を習得するとともに、基礎から応用へのつながり、展開の仕方の“勘どころ”に接近することを目標とする。</p> <p>&lt;アクティブ・ラーニング要素&gt;</p> <p>科目の性格上、基本的に「座学」の多い講義となる見込みであるが、14 回目と 15 回目において、受講者それぞれの「アントレプレナー・ファイナンス」に関する考えの表明とディスカッションの実施を予定している。</p> <p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>1 回目：イントロダクション/アントレプレナーとファイナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：起業家にとってのファイナンスの有する意味、学ぶ意味の確認</li> </ul> <p>2 回目：アントレプレナー・ファイナンスとコーポレート・ファイナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：両者の相違点を意思決定の目的、企業価値等ロジカルに検討</li> </ul> <p>3 回目：ベンチャー企業の組成と成長とファイナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：成長ステージやマイルストーンと資金調達を考える</li> </ul> <p>4 回目：事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ベンチャー企業の事業計画書の特徴を考える</li> </ul> <p>5 回目：資金調達契約の経済理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ベンチャーにかかわる契約の理論を考察する</li> </ul> <p>6 回目：割引キャッシュフロー法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：投資家が期待するリターンを求める企業評価手法の全体像を概観。DCF 法について学ぶ</li> </ul>				

**7 回目：投資のリスクと効率的ポートフォリオ（1）**

- ・要点：投資のリターンの計算を実際におこなう

**8 回目：投資のリスクと効率的ポートフォリオ（2）**

- ・要点：ポートフォリオのリスクとリターンを考える

**9 回目：資本市場線と市場ポートフォリオ**

- ・要点：リスク資産と無リスク資産からなるポートフォリオのリスクとリターンを検討

**10 回目： $\beta$ と証券市場線**

- ・要点：個別株式の資本コストの求め方を検討する

**11 回目：WACC（加重平均資本コスト）と評価の総括**

- ・要点：WACC について。5-11 週でとりあげたコーポレート・ファイナンスの「評価」の総括

**12 回目：ベンチャーキャピタル法**

- ・要点：米国ベンチャーキャピタルで普及している評価手法の検討

**13 回目：アントレプレナー・ファイナンスでの企業価値評価**

- ・要点：コーポレート・ファイナンス理論のベンチャーへの適用について検討する

**14 回目：アントレプレナーの分散投資、その他**

- ・要点：ポートフォリオ構成資産の1つとして考える投資価値を考える

**15 回目：総括**

- ・要点：全体のレビューと意見交換

**<講義の進め方>**

基本的には教科書を参照しつつ進めるが、関連する今日的な話題についても触れていく。

方法としては講義を中心とするが、可能であれば、チームを構築しチームでの討議と、そのクラスへの報告を織り交ぜる。時間中の学生からの質問、意見はいつでも受け付ける。

**<事前事後学修内容>**

講義にて指示する範囲の教科書と、事前に SNS サークルにアップする講義資料を必ず1回は読んだうえで（精読までは求めない）、当日のテーマについて事前に疑問点等を明確にしておくこと。

**<予習・復習時間>**

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

**<教科書及び教材>**

『MBA アントレプレナー・ファイナンス入門』忽那、山本、上林編著、中央経済社

**<参考書>**

起業家向けのファイナンスとしては：『アントレプレナー・ファイナンス』スミス&スミス著、山本、岸本、忽那監訳、中央経済社や、『起業のファイナンス』磯崎哲也、日本実業出版社

コーポレート・ファイナンスとしては：『コーポレート・ファイナンス 第10版 上』ブリーリー、マイヤーズ、アレン、日経BP社（『第8版』でも可）、『日本のエクイティファイナンス』鈴木健嗣著、中央経済社

ほか、必要に応じ指示する。

**<成績評価方法>**

レポート（期中3回程度実施の予定）、講義への参加（討議への貢献度等）の度合いを7:3の比率にて評価する。欠席6回以上は成績評価しない。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

レポート提出時にコメントフィードバックを予定。ほか、講義の SNS サークルにて逐次実施予定。

<履修条件>

特になし。ただしレポート回答の一部には、表計算ソフトの使用が求められる。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー>

火曜 6 限。まず e-mail で連絡すること。左記指定時間以外でも時間を確保することがある。

<その他>

特になし。